

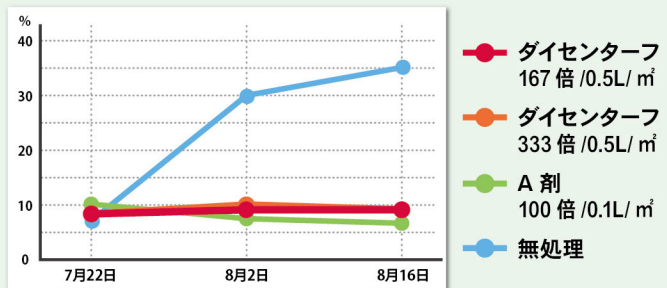
雨にも負けず、藻にも強い！ グリーンをきれいに保護する

ピシウム病 2022年度 日植防委託試験 新中国グリーン研究所 (山口)

● ベントグラス(ペンクロス) ● ピシウム病 / 中発生

【処理月日】 2022年 7月22日、8月2日
所定の希釈倍数に調製した供試薬液を
電動噴霧器にて散布。

【調査月日】 2022年 7月22日、8月2日、16日
病斑面積を測定

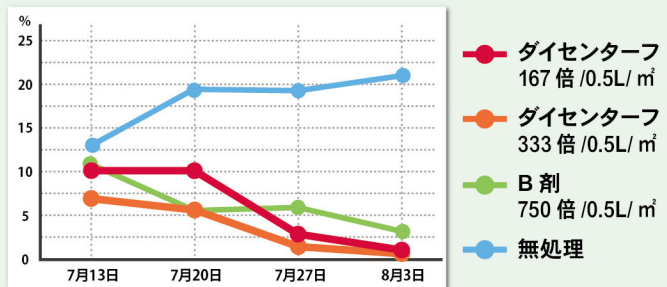


炭疽病 2022年度 日植防委託試験 関西グリーン研究所 (兵庫)

● ベントグラス(ペンクロス) ● 炭疽病 / 多発生

【処理月日】 2022年 7月13日、20日、27日
所定の希釈倍数に調製した供試薬液を
電動噴霧器にて散布。

【調査月日】 2022年 7月13日、20日、27日、8月3日
パッチ面積を測定



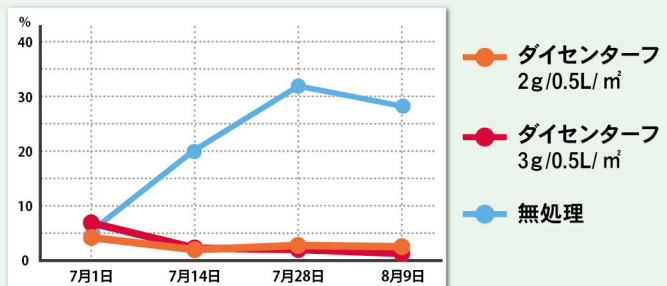
藻

2022年度 日植調委託試験 日植調茨城結城試験地

● ベントグラス(ペンクロス) 刈り高 4.5mm 芝生育期
● 藻類 / 発生初期処理

【処理月日】 2022年 7月1日、14日、28日
所定の希釈倍数に調製した供試薬液を
電動噴霧器にて散布。

【調査月日】 2022年 7月1日、14日、28日、8月9日



殺菌剤

ダイセセンターフ® 水和剤

炭疽病
ピシウム病
赤焼病
藻類
防除薬剤

ダイセーターフ[®] 水和剤

農林水産省登録：第 24836 号 包装：1kgX10 袋
有効成分：マンゼブ 80.0 % 性状：淡黄色水和性粉末 45μm 以下

殺菌剤分類 M3



■ 特長

- 有効成分「マンゼブ」は作用点が 6 つもあり、FRAC*の分類では耐性菌リスクが「低い」とされています。
- 多くの作用点を持つことで幅広い病原菌にスペクトラムを持ちます。
- 独自のマイクロカプセル様構造により効果の持続性に優れます。

*FRAC

Fungicide Resistance Action Committee (殺菌剤耐性対策委員会) 殺菌剤の耐性菌問題に取り組む国際機関。

■ 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	炭疽病	167 ~ 333 倍	0.5L/ m ²	発病初期	3 回以内	散布	3 回以内
	ピシウム病						
	赤焼病						

■ 適用雑草名の範囲及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 (ベントグラス)	藻類	藻類 発生初期	2 ~ 3g/ m ²	0.5L/ m ²	3 回以内	散布	3 回以内

■ 効果薬害などの注意事項

- (1) 散布液の調製時はよくかき混ぜること。
- (2) 石灰硫黄合剤、ボルドー液、チオジカルブ剤との混用はさけること。
- (3) ボルドー液との 7 日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- (4) 蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにすること。
- (5) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。散布器具の洗浄水等は河川等に流さないこと。また、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

■ 安全使用上の注意

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。
作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけること。
- (5) 夏期高温時の使用をさけること。
- (6) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

- 水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

本資料は 2024 年 10 月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社 Lawn & Specialty Products

お問い合わせ

・北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越の皆様は…… 営業本部 緑化営業部 TEL: 03-4463-8290 FAX: 03-4463-8291
・近畿 / 中国 / 四国の皆様は…………… 大阪オフィス 緑化営業部 TEL: 06-6346-7150 FAX: 06-6346-7230
・東海 / 北陸の皆様は…………… 名古屋オフィス 緑化営業部 TEL: 052-452-8614 FAX: 052-452-8621
・九州 / 沖縄の皆様は…………… 福岡オフィス 緑化営業部 TEL: 092-473-3891 FAX: 092-473-3891